



Jabra ユーザーガイド
GN9120

Jabra GN9120をご購入いただき、ありがとうございます。

Jabra GN9120は、コードレス・ヘッドセットと、電話機に接続されるベースユニットで構成されています。

Jabra GN9120により、通話中もハンズフリーでどこにでも移動でき、高品位の音声品質で通話することができます。

目 次

1. 梱包内容および各部の名称
2. ヘッドセットの各ボタンの説明
3. セットアップ
4. 充電
5. システム・セレクター・スイッチの設定
6. 装着スタイル
7. 電話の受け方とかけ方
8. 音量
9. 会議モード
10. 受話器の自動上げ下げ機能
11. ビープ音とランプ
12. バッテリーの交換
13. 新しいマスター・ヘッドセットの再登録
14. お手入れ、取り扱い、メンテナンス
15. トラブルの対処方法
16. Jabra GN9120 の仕様

1. 梱包内容および各部の名称

ベースユニット

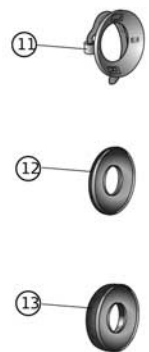
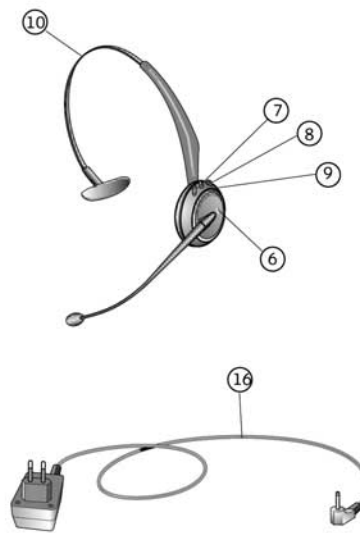
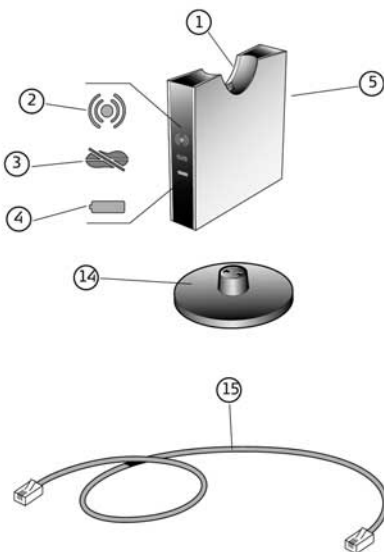
- ① 充電台
- ② ベースユニット・リンク・ランプ
- ③ ミュート・ランプ
- ④ バッテリー・ランプ
- ⑤ システム・セレクター・スイッチ

- ⑭ ベースユニット・スタンド
- ⑮ 接続コード
- ⑯ ACアダプター

ヘッドセット

- ⑥ ヘッドセット・リンク・ランプ
- ⑦ 音量調節-ボタン
- ⑧ 機能ボタン
- ⑨ 音量調節+ボタン
- ⑩ ヘッドバンド
- ⑪ イヤーリング&フック
- ⑫ イヤープレート
- ⑬ イヤークッション

注：図中には「リチウムイオン電池（ヘッドセットに充填済み）」と「マイクカバー」および「C29 PCコード（日本のみ）」は記載されておりませんが、同梱されております。



2. ヘッドセットの各ボタンの説明

機能ボタン

機能ボタンを押す時間によって、使用できる機能が切り替わります。(HS:ヘッドセット)

機能	一瞬押す	6 秒間押す
電話に出る/かける (HSオン)*	√	
通話を終了する (HSオフ)*	√	
他HSの会議への参加を許可する	√	
音質(4段階)を調整する		√

* Jabra GN 1000RHLでのみ対応



音量調整ボタン(+/-)

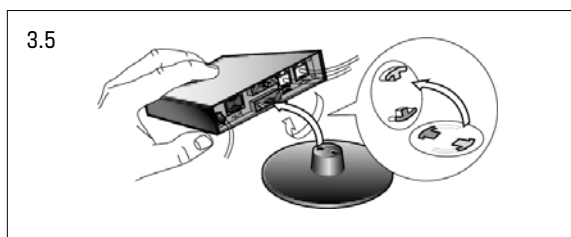
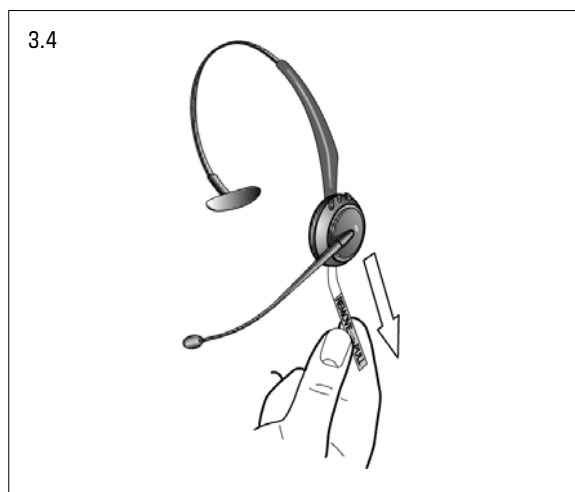
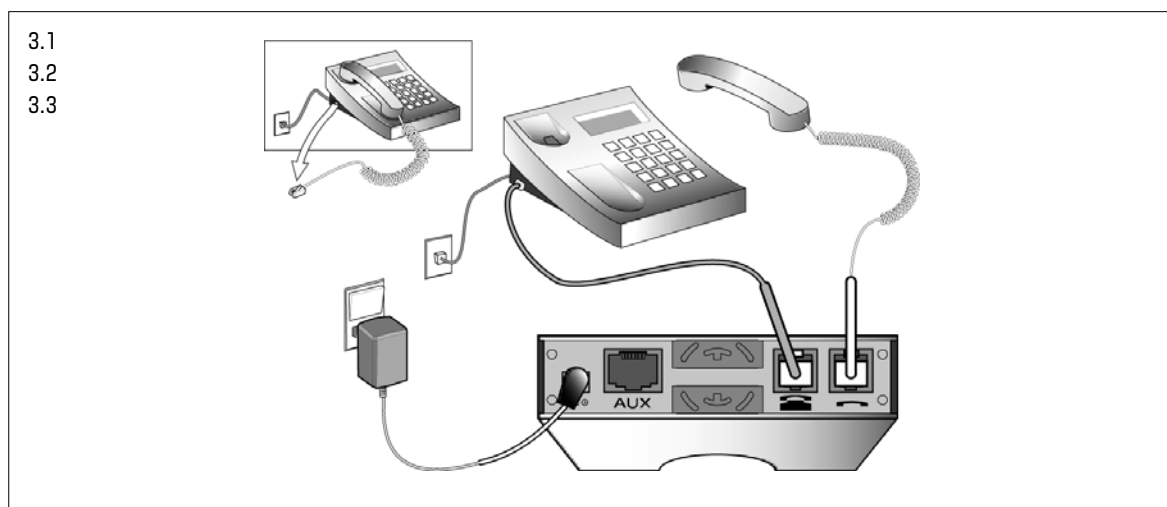
音量調整ボタン(+/-)を押す時間によって、使用できる機能が切り替わります。

機能	都度押す	1 秒間に 2 回押す
受話音量を上げる	√ (+ボタンで調節します)	
受話音量を下げる	√ (-ボタンで調節します)	
ミュート機能をオン/オフにする		√ (-ボタン)
送話音量を調整する	√ (+/-ボタンを同時に押すと音量調整モードに切り替わります。+または-を押して調整します)	



3. セットアップ

- 3.1 電話機から受話器のコードを抜いて、ベースユニット底面の受話器のマークがついた差込口に接続します。
- 3.2 接続コードを、電話機を受話器差込口に接続します。
- 3.3 ベースユニット底面にACアダプターを接続してからコンセントに接続します。
- 3.4 ヘッドセットからバッテリー保護シートをまっすぐ下方向に引き抜きます。(イヤerpッドとヘッドバンド部品を外すと引き抜きやすくなります)
- 3.5 ベースユニットにベースユニット・スタンドを取り付けます。その際、必ずACアダプターのコードをベースユニット底面中央の溝に通してスタンドを取り付けてください。
- 3.6 ヘッドセットをベースユニットに置いて充電します。これでセットアップは完了です。



4. 充電

ヘッドセットは使用前に必ず充電してください。

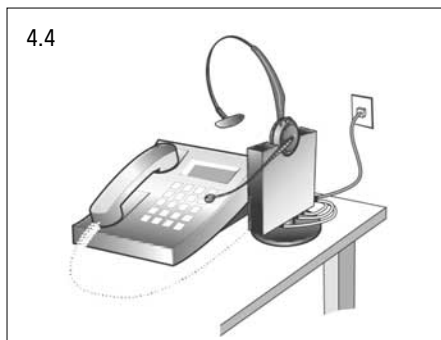
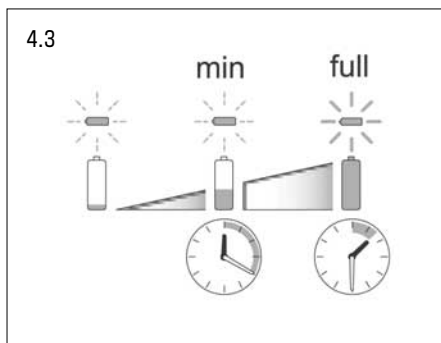
4.1 ヘッドセットを充電するには、ベースユニットの充電台に、ヘッドセットを置きます。

4.2 充電中は、ベースユニットのバッテリー・ランプが点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。

4.3 ヘッドセットは出荷時には充電されていませんので、ご使用前に20分以上充電してください。フル充電には1時間半から2時間かかりますが、これで連続最大8時間の通話が可能となります。

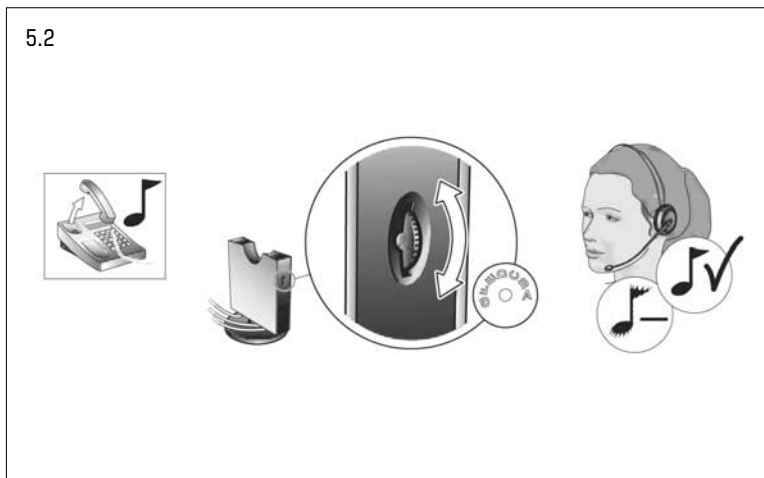
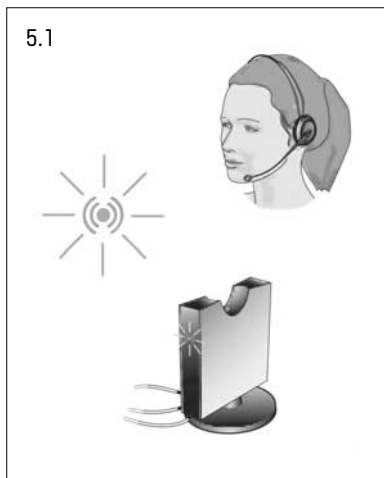
4.4 ヘッドセットを使う準備はこれで完了です。

注：バッテリー残量が少なくなると、20秒後毎にヘッドセットからピツという音が聞こえます。この音が聞こえたら再充電が必要です。



5. システム・セレクター・スイッチの設定

- 5.1 ヘッドセットを装着し、電話機の受話器を持ち上げます。
- 5.2 ヘッドセットから電話機のダイヤルトーンが聞こえない時は、システム・セレクター・スイッチをAからGまで順に動かしてダイヤルトーンがはっきり聞こえるところに設定します。AでもGでも音質が変わらない場合は、Aに設定してください。工場出荷時にはAに設定されています。（日本では殆どの場合Aの設定になります。）



6. 装着スタイル

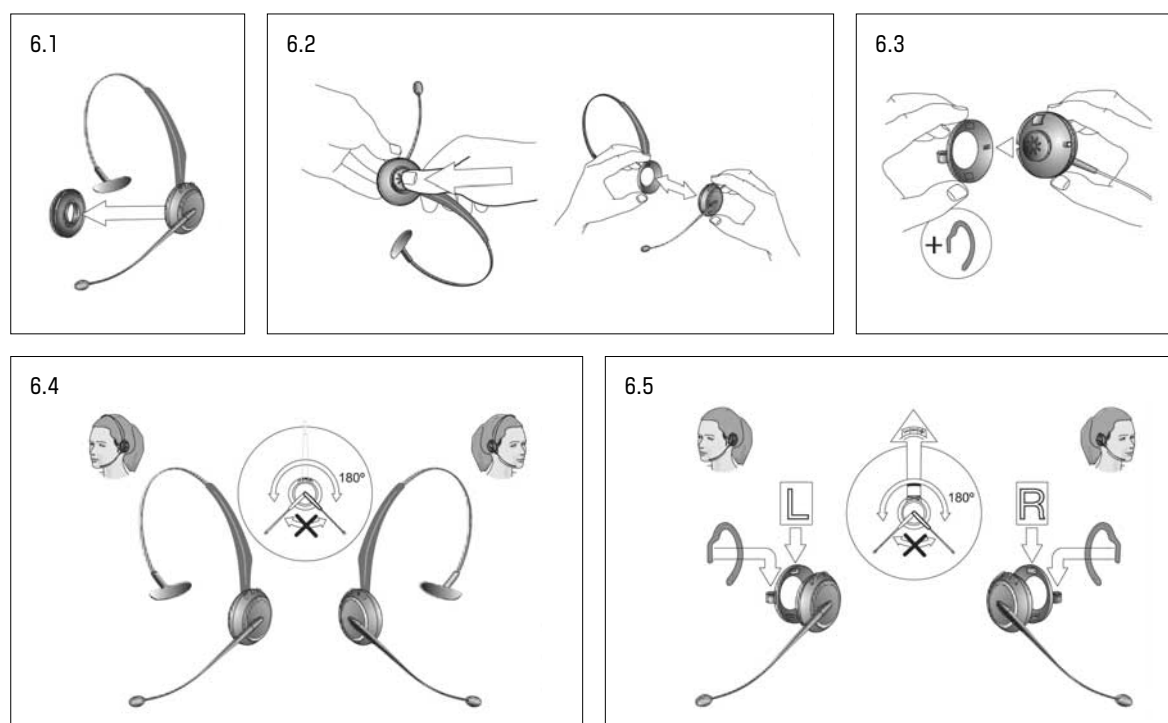
着用スタイルの変更：ヘッドバンドからイヤーリング&フックへの付け替え

- 6.1 イヤークッションをレシーバーから取り外します。
- 6.2 図のようにヘッドバンドを持ち、親指でレシーバーのスピーカー部分を押し出す感じでヘッドバンドを取り外します。
- 6.3 右耳用の場合は、ヘッドセットのスピーカー上部の四角い穴にイヤーリング内側の“R”マークの部分を合わせてはめ込みます。左耳用の場合には、“L”マークを合わせます。

装着する向きの変更（右耳用または左耳用）

ヘッドセットの各種設定ボタンが上を向くようにします。その後マイクアームを 180度回転させ、装着する向きを変更します。

- 6.4 ヘッドバンドスタイル時に左耳用（右耳用）で使いたい場合は、ヘッドセットのマイクロホンブームアームを上から約270度回し、変更することができます。下からは回すことができませんのでご注意ください。
- 6.5 耳掛けスタイル時に左耳用（右耳用）で使いたい場合は、図の“L”（“R”）のようにイヤーフックを付け替えます。



7. 電話の受け方とかけ方

電話の受け方／切り方

- 7.1 ヘッドセットをベースユニットから外し、装着します。ベースユニット・リンク・ランプが点灯します。
- 7.2 電話がかかってきたら電話機の受け台から受話器をとります。
- 7.3 電話を切るときは、電話機の受け台に受話器を戻します。

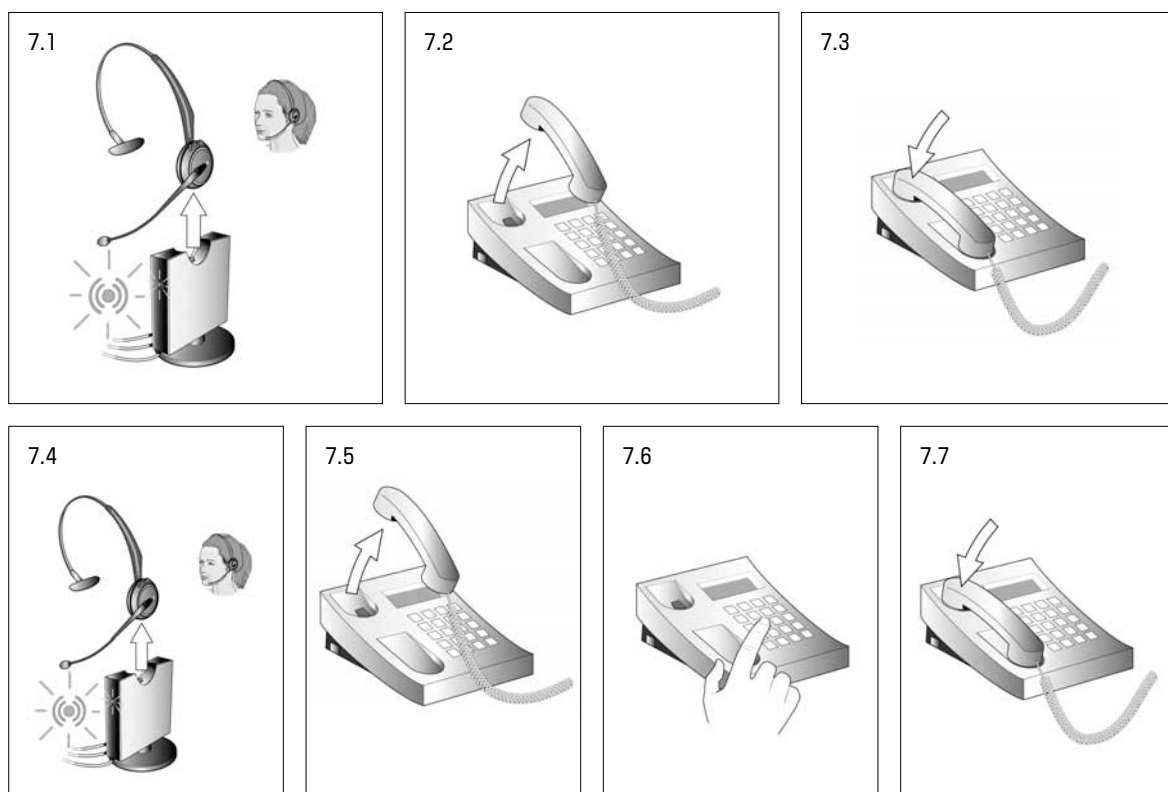
電話のかけ方／切り方

- 7.4 ヘッドセットをベースユニットから外し、装着します。ベースユニット・リンク・ランプが点灯します。
- 7.5 電話機の受け台から受話器をとり、ヘッドセットでダイヤルトーンを確認します。
- 7.6 相手方の番号をダイヤルします。
- 7.7 電話を切るときは、電話機の受け台に受話器を戻します。

注：ミュート機能

ミュート機能を使用するには、ヘッドセットの音量調節ボタンを連続で2回押します。

ミュート機能を解除するには、再び2回押します。



8. 音量

送話音量の調節

- 8.1 電話をかけ通話相手に協力してもらいます。
- 8.2 ヘッドセットの音量調節⊕ボタンと⊖ボタンを両方同時に押ししてください。ヘッドセットのヘッドセット・リンク・ランプが早く点滅します。
- 8.3 音量調節⊕ボタン（⊖ボタン）を押して音量を調節します。その際、必ずマイクロホンの位置を唇から約指一本分の位置にしてください。
- 8.4 通話相手に届く音量が適当なレベルになったら、もう一度音量調節⊕ボタンと⊖ボタンを両方同時に押すか、約10秒間お待ちください。

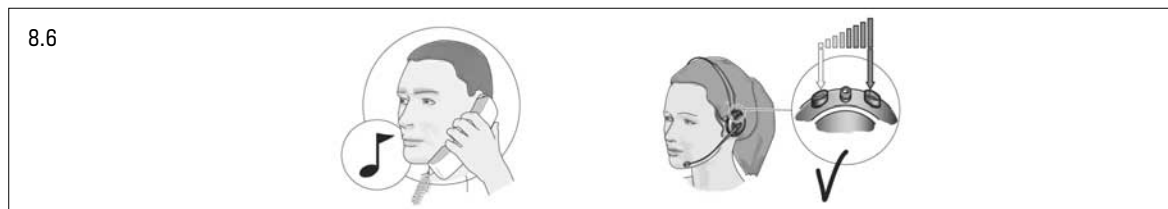
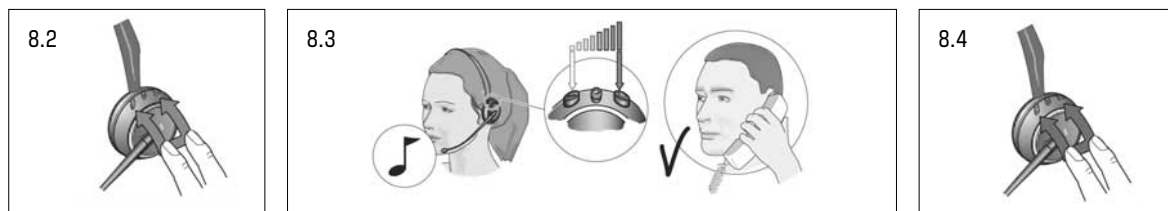
注：送話音量が大きすぎると送受話ともに雑音の原因となりますのでご注意ください。

受話音量の調節

- 8.5 受話音量は通話ごとに調節いただけます。
- 8.6 音量調節⊕ボタンまたは⊖ボタンを押して受話音量を適宜調節してください。音量が最大または最小まで達すると、レシーバーからピツという音が聞こえます。

受話音質の調節

- 8.7 電話をかけ、通話相手に協力してもらいます。
- 8.8 機能ボタンを約6秒間押し続けます。
- 8.9 音量調節⊕ボタンまたは⊖ボタンを押して4つある受話音質を順次切り替えられます。
- 8.10 好みの受話音質になったら、機能ボタンを押して受話音質の調節を完了します。



9. 会議モード

あなたのベースユニットと一緒に使うヘッドセットを以下マスターヘッドセットと呼びます。会議モードに他のヘッドセットを加えるときは9.3から9.5の手順を繰り返します。

会議モードでは最大4つのヘッドセットの参加が可能です。

会議モードの設定は電話をかける前でも、電話中でも可能です。

9.1 ベースユニットからマスター・ヘッドセットを外します。

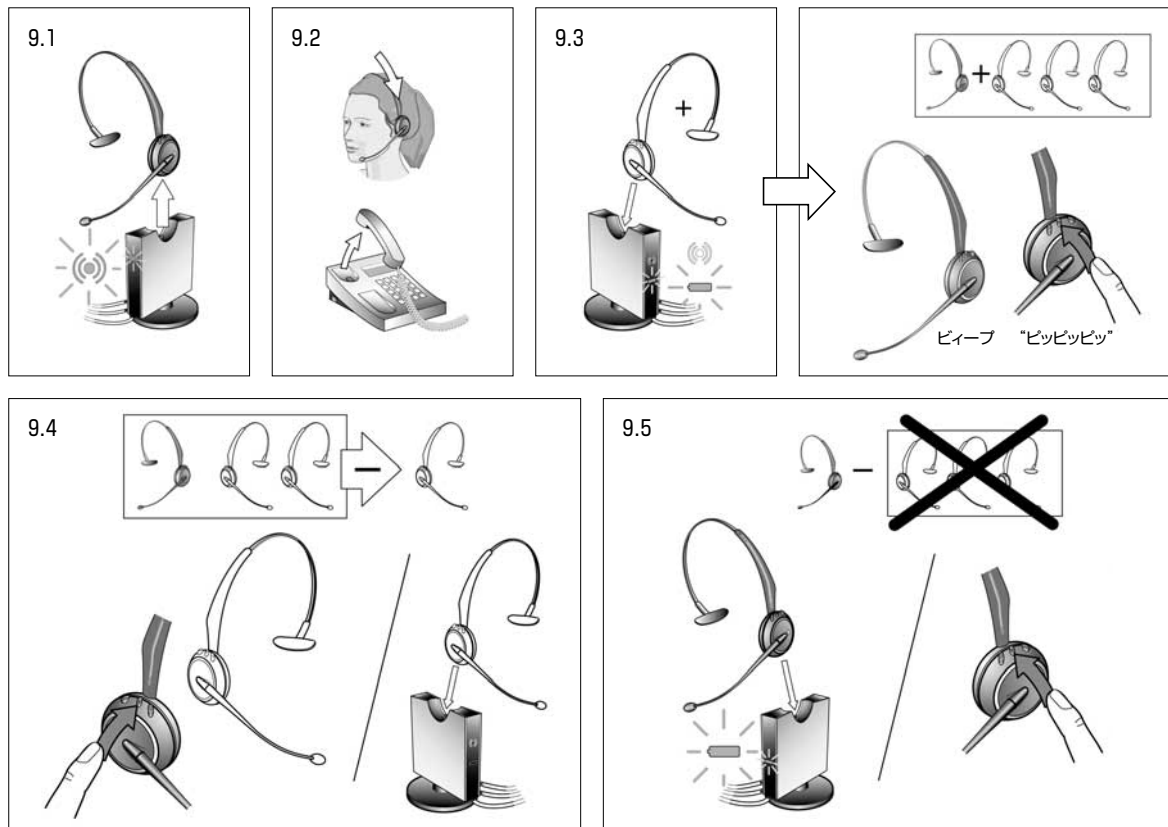
9.2 電話をかけます（または受けます）。

9.3 通話中、第2のヘッドセットをマスター・ヘッドセットのベースユニットの充電台にのせます。ベースユニットの全てのランプが点灯、消灯を3回繰り返します。バッテリー・ランプが点滅したら、第2のヘッドセットをベースユニットから外します。マスター・ヘッドセットのレシーバーからピッピッピッという音が聞こえます。その後、15秒以内にマスター・ヘッドセットの機能ボタンを押すと第2のヘッドセットが会議モードに加わります。

9.4 第2のヘッドセットが会議モードから抜けるには、そのヘッドセットの機能ボタンを押してオフの状態にしてください。

9.5 会議モードは、マスター・ヘッドセットをベースユニットに戻すか、そのヘッドセットの機能ボタンを押すと終了します。

※ご使用環境により、会議モードにてヘッドセットを追加することに音質の劣化が見られる場合があります。



10. 受話器の自動上げ下げ機能

Jabra GN1000RHLを併用した電話の発着信

別途Jabra GN1000RHLをご購入いただくと、机から離れているときでもリモート操作で受話器を上げ下げすることにより電話を受けたり、電話を切ることができます。



詳細については、代理店にご連絡いただくか、www.jabra.comを参照してください。

接続の注意点：ヘッドセット差込口が付いている電話機に Jabra GN1000 RHLを使用する場合は、電話機の(ヘッドセット差込口ではなく)受話器差込口にJabra GN9120の接続コードを接続する必要があります。

Jabra GN1000RHLを使用して電話を受けるには

10.1 電話がかかってきたら、ベースユニットからヘッドセットを外し装着します。ヘッドセットがオンになり、ベースユニットの正面のベースユニット・リンク・ランプが点灯します。

注意：ヘッドセットを装着しているときは、ヘッドセットの機能ボタンを一回押すだけで、ヘッドセットをオンにすることができます。

10.2 電話を切るには、機能ボタンを一回押すか、ヘッドセットをベースユニットに戻します。

Jabra GN1000RHLを使用して電話をかける

Jabra GN1000RHLを使用して電話をかけるには、次の手順で操作します。

10.3 ベースユニットからヘッドセットを外し装着します。ヘッドセットがオンになり、ベースユニットの正面のベースユニット・リンク・ランプが点灯します。

10.4 電話番号をダイヤルします。電話を切るには、機能ボタンを一回押すか、ヘッドセットをベースユニットに戻します。

11. ビープ音とランプ

Jabra GN9120のヘッドセットとベースユニットは、ピツというビープ音とランプで、製品の設定と操作に関連するさまざまな動作と状態をお知らせします。

ヘッドセットには、ビープ音とランプにより、ベースユニットでは、バッテリーランプ、ベースユニット・リンク・ランプ、ミュートランプでさまざまな状態情報が分かります。

ヘッドセットのビープ音

ヘッドセットの動作	ビープ音
使用範囲外	10秒毎にビープ音
ミュートのオン	15秒毎にビープ音
バッテリー残量が少ない	20秒毎にビープ音
音量の調整	1回押す毎に低い音が1回
最大音量に達したとき	短いビープ音
最小音量に達したとき	短いビープ音
音質調整	ビープ音(6秒経過したことを示す)
会議モードでヘッドセットを追加	マスター・ヘッドセットにビープ音
電話がかかってきたとき	ビープ音(Jabra GN1000の使用時のみ)

ヘッドセットのランプ

ヘッドセットのモード	ヘッドセットのランプ
送話音量の調整	モードに切り替えると、すばやく点滅



ベースユニットのランプ

ベースユニットの状態	ベースユニットのランプ
充電中	バッテリー・ランプが点滅
充電の完了	バッテリー・ランプが点灯
ミュート	ミュート・ランプが点灯
会議モードにヘッドセットを追加	すべてのランプが点滅した後、バッテリー・ランプが点滅*
ヘッドセットとベースユニットの接続	ベースユニット・リンク・ランプが点灯
新しいマスター・ヘッドセットの登録	すべてのランプが3回点滅し、バッテリー・ランプが点滅*
マイクロホンが音を拾っている時	音声入出力ランプが点滅



*ヘッドセットがフル充電の場合、バッテリーランプが点灯

12. バッテリーの交換

本製品に同梱のバッテリーは交換することができます。フル充電にもかかわらず使用できる時間が短くなってきましたら、以下の手順に従ってください。

12.1 イヤー Cushion を取り外し、ヘッドバンド (またはイヤーリング&フック) をヘッドセットから取り外します。(取り外し方法はP.6を参照してください)

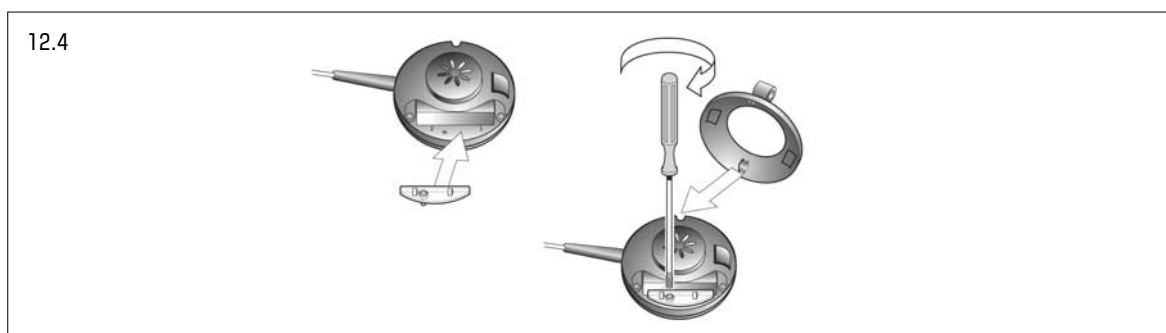
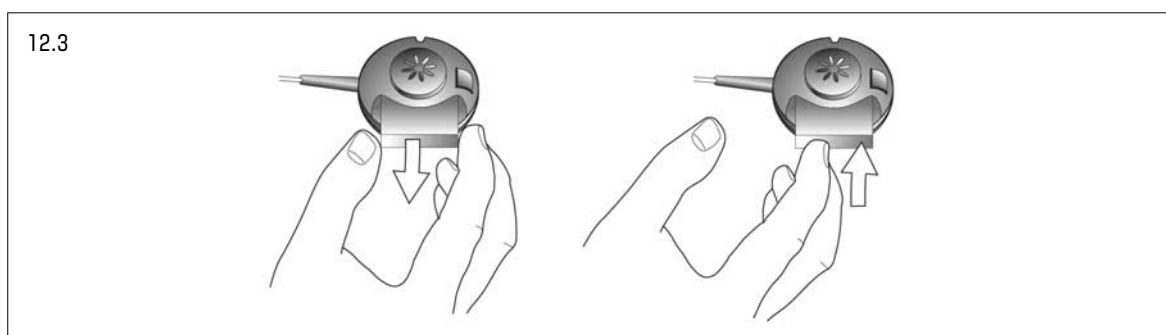
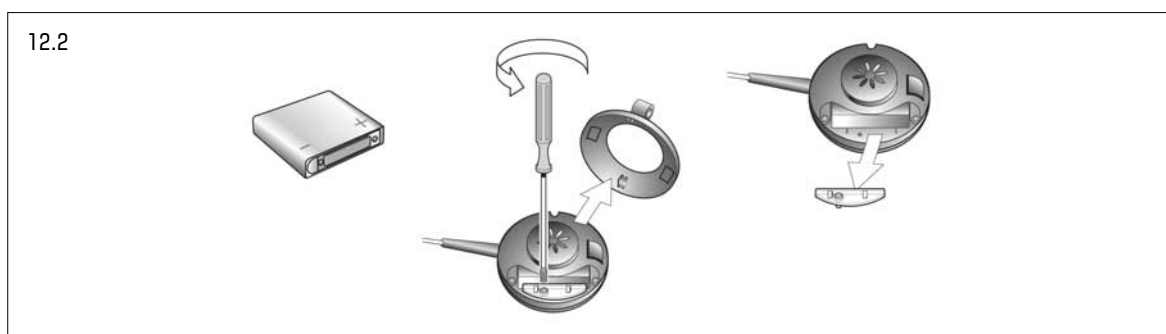
12.2 精密+ドライバーで中央のネジ1カ所を外し、バッテリーを固定している半月型部品を外してバッテリーを取り出します。

12.3 新しいバッテリーをバッテリー・スロットに差し込みます。

注：バッテリーには+-の極性があります。バッテリーのプラス(+)印がバッテリー・スロットのプラス(+)印と同じ方向にくるようにバッテリーを挿入してください。

12.4 外した部品をネジで止めてください。

12.5 ヘッドバンド (またはイヤーリング&フック) とヘッドセットイヤー Cushion を再び取り付けます。



13. マスター・ヘッドセットの再登録

ヘッドセットを紛失または破損した場合には、他のJabra GN9120ヘッドセットを新しいマスター・ヘッドセットとしてJabra GN9120のベースユニットに再登録できます。新しいマスター・ヘッドセットを登録するには、次の手順で操作します。

- 13.1 アダプターを数秒間コンセントから抜きます。
- 13.2 新しいマスター・ヘッドセットをベースユニットの充電台に置きます。
- 13.3 アダプターをコンセントに差し込みます。
- 13.4 すべてのランプが3回点滅します。その後、バッテリー・ランプのみが点滅（ヘッドセットがフル充電の場合は点灯）します。
- 13.5 これで、新しいヘッドセットを使用できるようになりました。

設定のリセット

バッテリーを取り外すか、ACアダプターをコンセントから（数秒以上）抜くと、ヘッドセットの設定がすべて初期設定に戻ります。

14. お手入れ、取り扱い、メンテナンス

ヘッドセットのアーム、イヤーフック部品など、ヘッドセットをお手入れする場合は、布で（必要であれば少しぬらして）拭いてください。布をぬらすときは水のみを使用し、必要な場合は液体洗剤を少量使用します。

ボタン口などのすき間に湿気や液体が入らないように気を付けてください。

イヤークッションとイヤープレートをお手入れするときは、水のみを使用します。汚れがひどい場合には液体洗剤を少量使用してください。

- ・イヤープレートをお手入れするときは、まずイヤープレートをヘッドセットのレシーバーから外します。
- ・ヘッドセットのイヤークッションをお手入れするときは、イヤープレートからそっとはがします。
- ・Jabra GN9120を水の中に入れてください。

お客様による製品の分解はできません。バッテリーの交換のみお客様で行うことができます。

本製品やバッテリーを廃棄する場合は、お住まいの地域で指定されている規則に従ってください。今後に備えて、このユーザーガイドは大切に保管してください。

15. トラブルの対処方法

●ダイヤル音が聞こえません。

- ・すべてのコードとプラグが正しく接続されていることを確認します。
- ・ACアダプターが接続されていることと、通電していることを確認します。
- ・ベースユニット・リンクランプが点灯していることを確認します。点灯していないときは、ベースユニットの充電台にヘッドセットを一旦置いてから外します。
- ・バッテリーの残量が十分であることを確認します。バッテリーがフル充電の場合は、ヘッドセットを正しくベースユニットの充電台に置くと、ベースユニットのバッテリー・ランプが点灯します。
- ・システム・セレクター・スイッチが電話機に合った設定になっているか確認します。「システム・セレクター・スイッチの設定」を参照ください。

●通話相手から、声が聞き取りづらいと言われます。

- ・ミュート機能がオフであることを確認します。
- ・マイクアームの位置を調整して、マイクロホンを唇から約指一本分まで寄せます。
- ・マイクロホン音量を再調整します。(音量が大きすぎるとハウリング等の原因になりますのでご注意ください。)
- ・ヘッドセットで使用しているベースユニットの圏外にいる可能性があります。ベースユニットの近くに移動してください。

●バッテリー・ランプが点滅したままで、点灯状態になりません。

ヘッドセットにバッテリーが正しく充填されていることを確認し、ヘッドセットをベースユニットの充電台に正しく置きます。

●Jabra GN9120を正しく設定しましたが、ヘッドセットでブーンという雑音が聞こえます。

電話機から、ヘッドセットおよびベースユニット間の無線通信が影響を受けている可能性があります。この問題に対応するには、電話機からベースユニットを30cm以上離します。

●通話相手から、声が聞こえないと言われます。

システム・セレクター・スイッチがお使いの電話機に合った設定にあるかを確認します。また、送話音量を調整します。「システム・セレクター・スイッチの設定」を参照してください。

●機能ボタンを押すと、Jabra GN1000RHLで受話器が上がりませんが、音が聞こえません。

ヘッドセット差込口付の電話機にJabra GN9120とJabra GN1000RHLを併用するときは、ベースユニットが、電話機の（ヘッドセット差込口ではなく）受話器差込口に接続されていることを確認します。Jabra GN1000RHLの『ユーザーガイド』の図を参照してください。

●ヘッドセットの音声が反響します。

電話機の音量を中程度または低く設定します。必要に応じて、ヘッドセットのマイクロホン音量を低く設定します。この時、マイクロホンが唇から約指一本まで寄せて、送話音量の調節を行ってください。

●ヘッドセットは正常に機能していましたが、機能なくなり、どのランプも点灯しません。

ヘッドセットとベースユニットを再びリンクさせる必要があります。この参照ガイドの「マスター・ヘッドセットの再登録」を参照してください。

詳細情報や、お問い合わせ方法については、www.jabra.comを参照してください。

16. Jabra GN9120 の仕様

●通信規格	2.4GHz 周波数ホッピングによるスペクトラム拡散
●セキュリティ	デジタル拡散スペクトラム 64bit 暗号化
●送信出力	最大2mW
●チャンネル数	95 (自動選択)
●通話時間	最大約8時間 (環境により異なる)
●充電時間	約2時間
●音量調節	受話:9段階 送話:7段階
●使用範囲	ベースユニットから最大150m (環境により異なる)
●設置可能数	最大50 台 (環境により異なる)
●バッテリー	二次電池 (3.7V リチウムイオン)
●電 源	AC アダプター付属 7.5VDC、最大700mA
●電話機適合	多機能電話機、ビジネスホン、単独電話機、IP ホン等
●PC 接続	サウンドカード接続 (コード付属)
●寸 法	ベースユニット:110×23×100mm
●ヘッドセット重量	耳掛け時:40g ヘッドバンド時:55g
●電波法認証番号	ヘッドセット:04NYCA0004 ベースユニット:04NYDA0005
●グローバル基準	UL1459、CSA、FCC15&68、IC RSS-210

※ 仕様、デザインおよび価格は品質・性能向上のため予告なしに一部変更する場合があります。